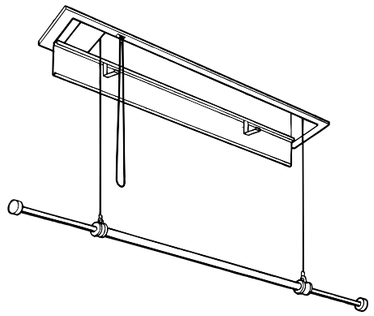


室内物干しユニット
〈ホシ姫サマ〉

Panasonic®

施工説明書

室内物干しユニット

品番：CWF11SM・CWF11LM・CWF8105MSH

施工店様へ

このたびは当製品をご採用いただきありがとうございます。

※この商品は一般住宅およびそれに準じる居住施設の屋内専用です。他の用途へのご使用はおやめください。
屋外および浴室内部など頻繁に水分と接するところには使用しないでください。

■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

■取扱説明書・ご愛用者ハガキは必ずお客さまにお渡ししてください。

安全上のご注意　必ずお守りください

施工される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告	この表示の欄は、「重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示の欄は、「軽傷を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠警告

分解禁止	●商品の分解・修理・改造は絶対しない。 火災、感電や故障の原因となります。	必ず守る	●付属のねじを必ず使用する。 それ以外のねじを使用すると落下によるけがの原因となります。
必ず守る	●本体は十分強度のあるところに確実に取り付ける。 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。		●取り付け位置に注意する。 暖房器具などを置くような場所や、使用時に竿に当たるような場所では、火事やけがのおそれがあります。

⚠注意

禁止	●付属の竿以外は使用しない。 落下によるけがの原因となります。

施工前のご注意

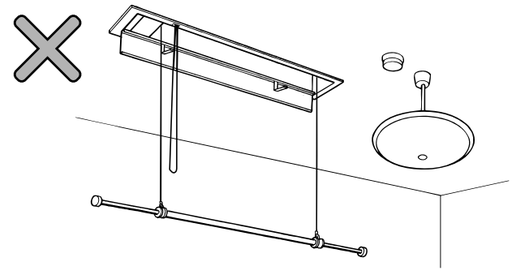
●商品を施工する前に操作をしない。
ワイヤがからみ、故障の原因となります。

■取り付け場所にご注意ください。

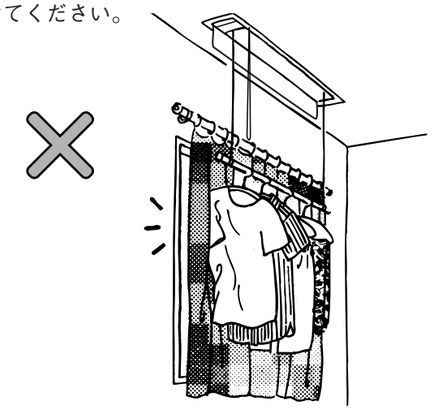
⚠警告

必ず守る

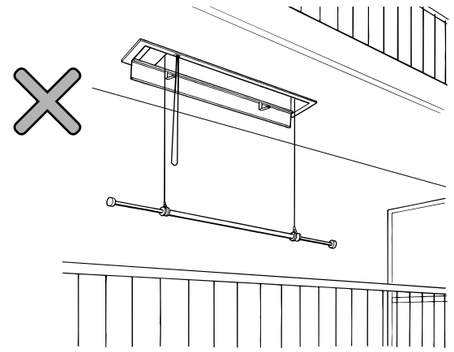
●照明器具や火災報知器の近くに物干しユニットを取り付けることは避ける。
落下によるけが、熱による火災の原因となります。



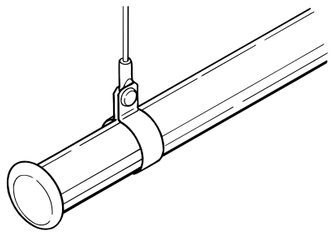
●出入口や人の動きのさまたげになる場所には取り付けないでください。
※また、窓際に取り付ける際は、ハンガーなどにかけた洗濯物がカーテンに当たらないように取り付けてください。



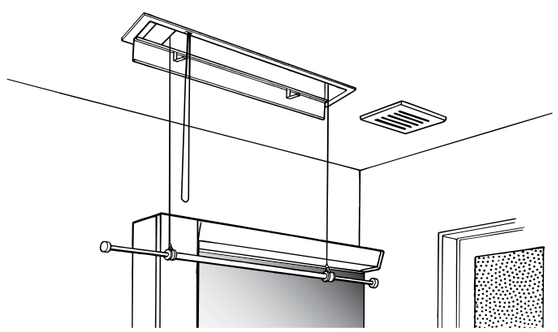
●テラスなど屋外や浴室には、取り付けないでください。
※故障の原因となります。



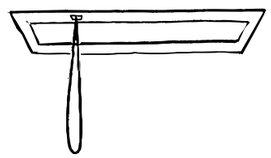
●竿は当社専用の竿をご使用ください。
※トラブルの原因となります。



●物干しユニットを取り付ける場所に除湿機（換気扇など）を取り付けることをおすすめします。



●本体の取り付け高さにご注意ください。
※本製品は天井高2400mmの位置に取り付けるように設計しています。天井が高い場合操作しにくいことがあります。
施工のしかた3「操作コード引き上げスライダーの調節」を参照してください。

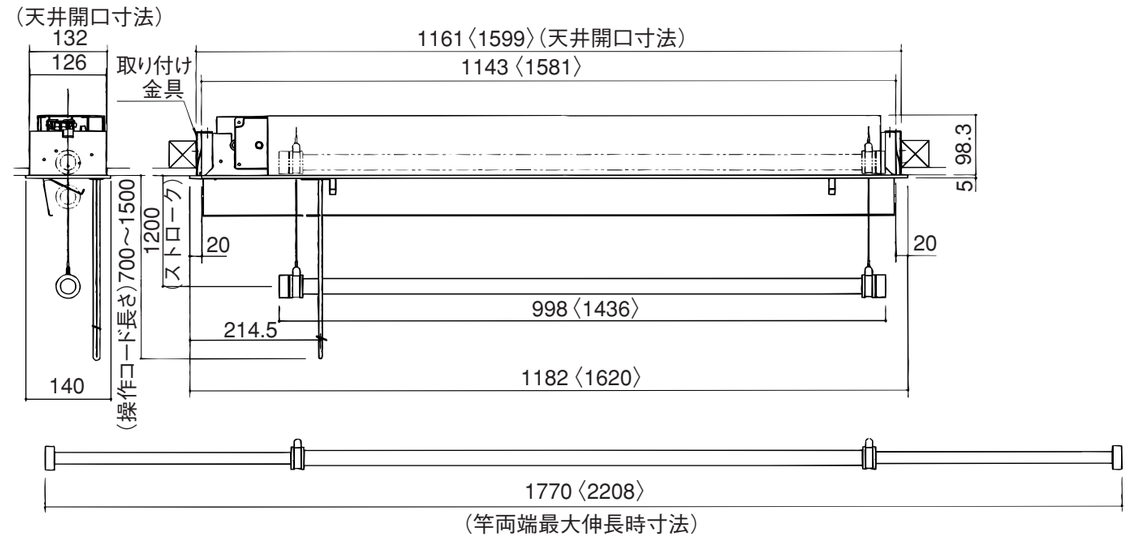


■梱包内容

名　　称	数　量	内　容	
本　体　一　式	1セット	本体	1
		フタ板	1
		竿	1
		竿固定バンド	1
		竿固定バンド用ねじ（M4×8）	2
		竿固定バンド用ナット（M4）	2
部　品　袋	1セット	取り付け金具	2
		取り付け金具固定用ねじ（トラスφ4×35 TP）	8
		本体固定用ねじ（M4×16）	4
説　明　書	1セット	施工説明書 取扱説明書〈アフターサービス窓口一覧表付〉（施主様用） ご愛用者ハガキ（施主様用）	

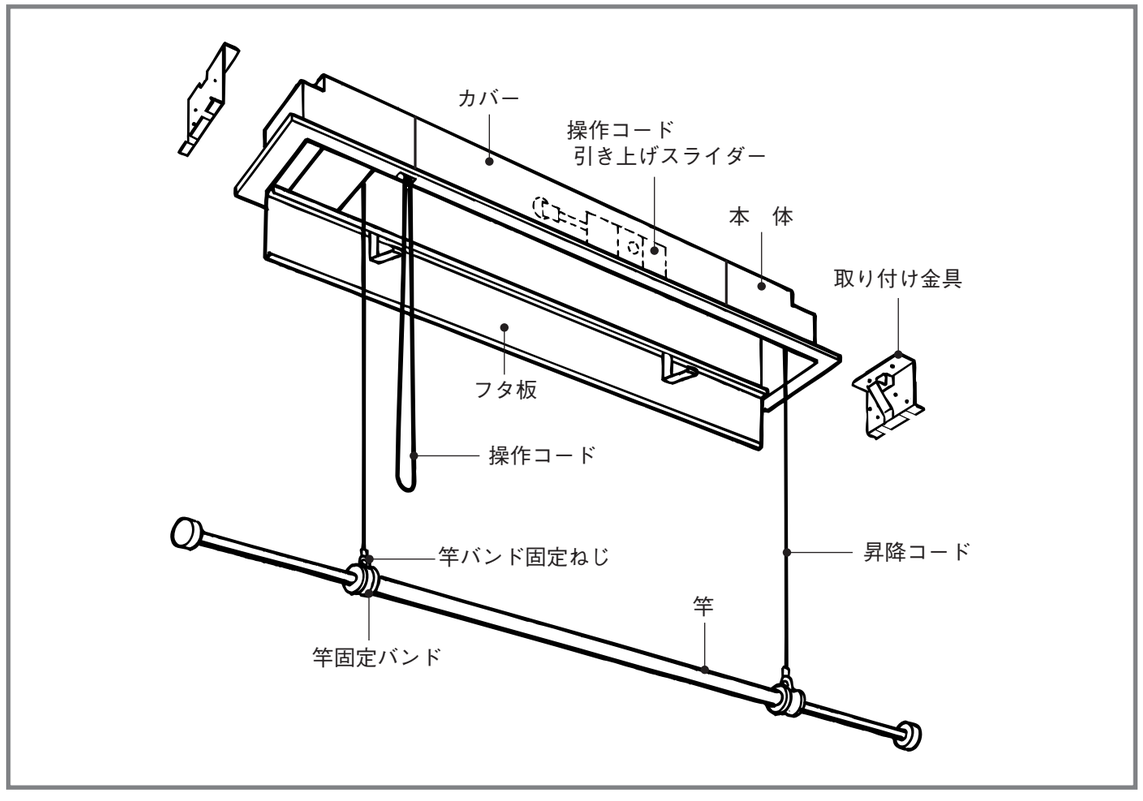
■寸法図

〔寸法単位：mm〕



※〈　〉内寸法はCWF11LMの場合

■各部のなまえ



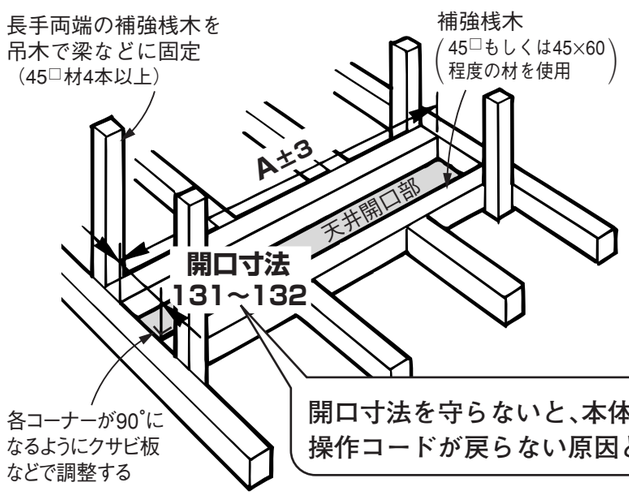
施工のしかた

〔寸法単位：mm〕

1 施工前の準備（補強桟の取り付け）

■本体取り付け天井位置に開口部を設け、周囲に補強桟を取り付ける。

注 意 目安として150kgの最大荷重に耐える補強根太を確実に施工してください。



開口寸法を守らないと、本体板バネが桟木に当たり、操作コードが戻らない原因となります

⚠注意

必ず守る

●本体は十分強度のあるところに確実に取り付ける。
取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

	CWF11SM CWF8105MSH	CWF11LM
A寸法	1161	1599

注 意 寸法は正確に出してください。開口が大きすぎると商品落下の原因となります。

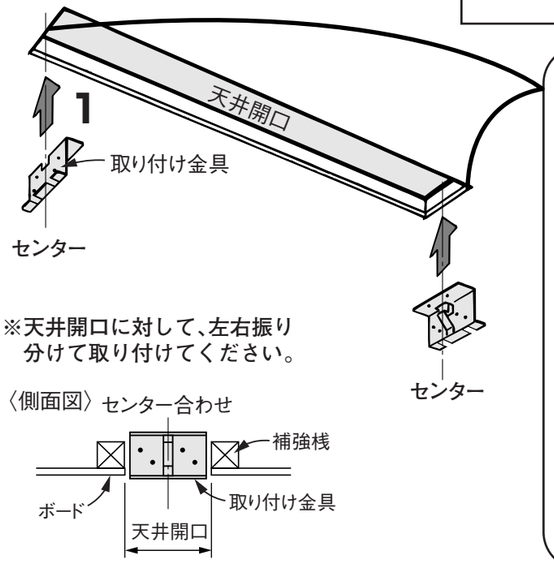
2 取り付け金具の取り付け

■取り付け金具を天井開口長手両端に固定用ねじ（トラスφ4×35 TP）で取り付ける。

⚠注意

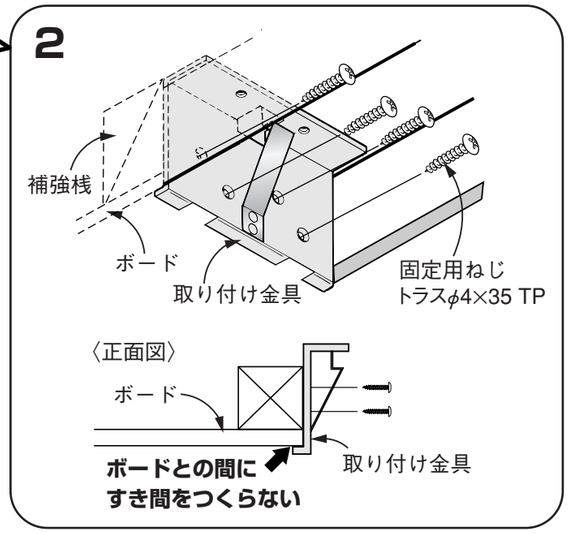
必ず守る

●固定用ねじは補強桟に確実に固定する。
固定が不十分な場合、落下によるけがの原因となります。



※天井開口に対して、左右振り分けて取り付けてください。

〈側面図〉センター合わせ



3 操作コード引き上げスライダーの調節

〈操作コード自動巻き上げ高さの調節〉

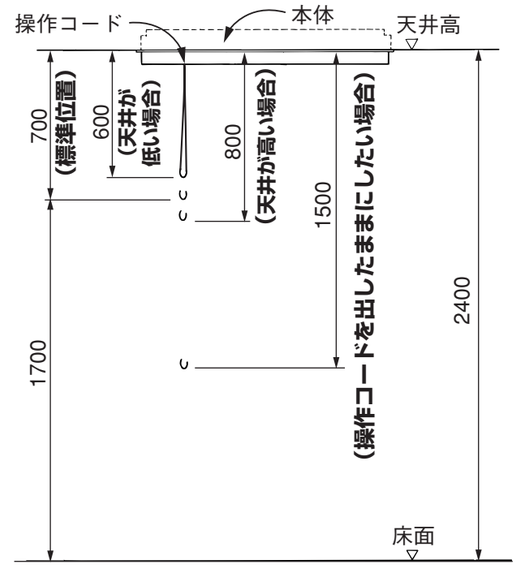
本製品は天井高2400mmに取り付けるように設計しています。

必要に応じて 操作コードの引き上げ高さを調節してください。

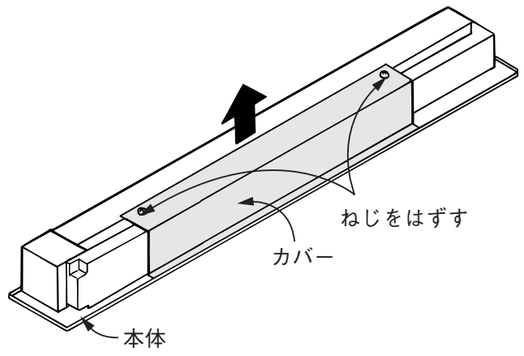
注 意 この作業は取り付け強度を確保するために、工務店様にて行ってください。

[操作コードの調節範囲]

右図の通り合計4パターンで調節が可能です。

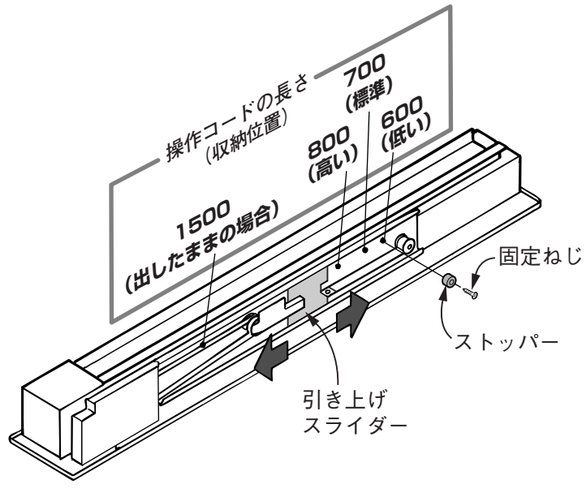


1. 本体裏側のカバーを外す。



2. 引き上げスライダーのストッパーを外す。

3. ストッパーを必要な位置に移動させ、固定する。

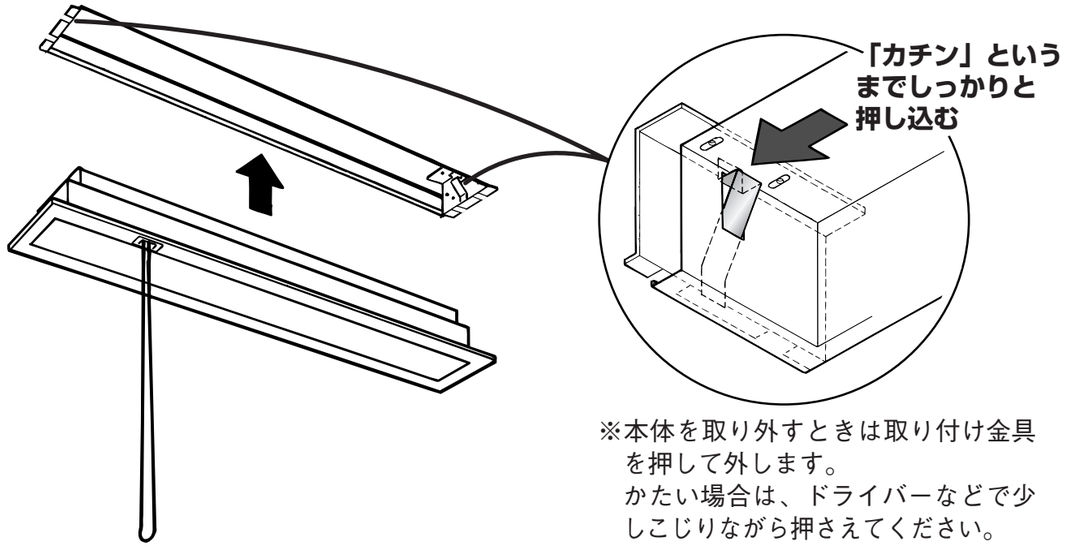


4. カバーを逆の手順で元に戻す。

※外したねじは確実に固定してください。

4 本体の仮固定

■天井開口部に本体を差し込み、天井に本体を仮固定する。



※本体を取り外すときは取り付け金具を押して外します。
かたい場合は、ドライバーなどで少しこじりながら押さえてください。

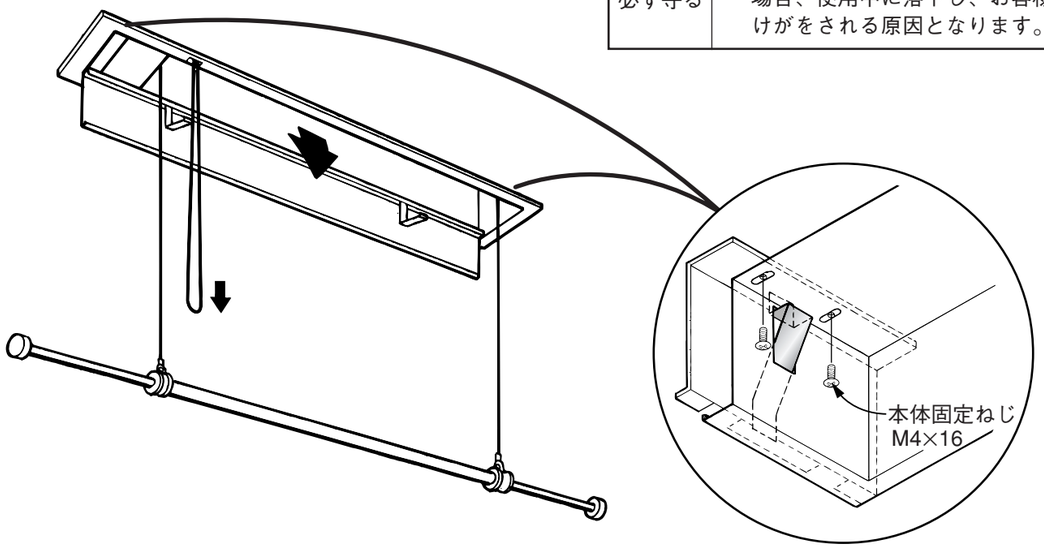
5 本体の固定

■操作コードで竿を下ろし、フタを開ける。本体内部より、長手両端の取り付け金具に本体固定用ねじ（M4×16）でしっかりと固定する。

⚠注意

必ず守る

●本体固定用ねじは確実に取り付ける。
ねじの不足、ねじのゆがみがある場合、使用中に落下し、お客様がけがをされる原因となります。

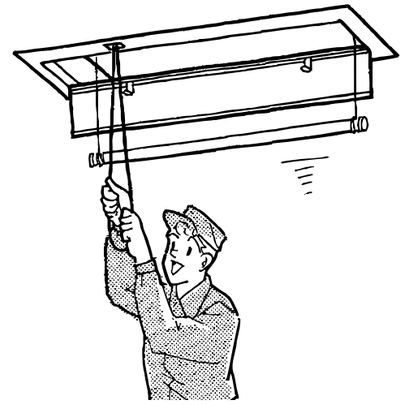


6 施工後の確認

1. 本体が確実に取り付いているか確認してください。

2. 操作コードを引っ張り、竿が昇降するか確認してください。また、最上部で竿が本体に収納し、フタが閉まるか確認してください。

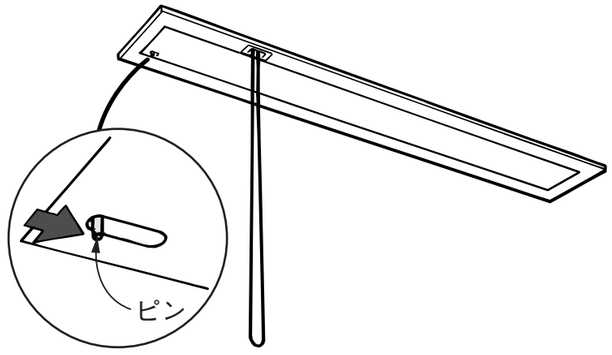
●操作コードを出したままにしてご使用される場合は、操作コードが邪魔にならないように、市販のカーテンフックなどで引っ掛けてください。



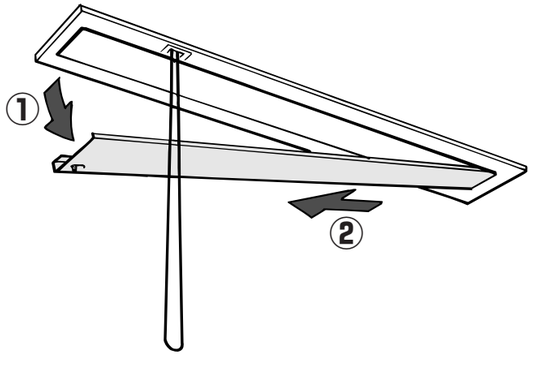
■ その他

●本製品は必要に応じて、フタ板を取り外すことができます。

1. フタ板の端に付いているピンを横にスライドさる。



2. ①ピンの付いている側を下に降ろし、
②フタ板を横にずらしてもう一方の軸を外す。



●フタ板の取り付けは、**1.2.**の操作を逆にして元に戻す。

注意 フタ板が確実に取り付いているか確認してください。

パナソニック株式会社　内装システムビジネスユニット
〒571- 8686 大阪府門真市大字門真1048番地
© Panasonic Corporation 2012
D1008-3012